

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年5月21日（月）～5月27日（日）〔平成24年第21週〕の感染症発生状況

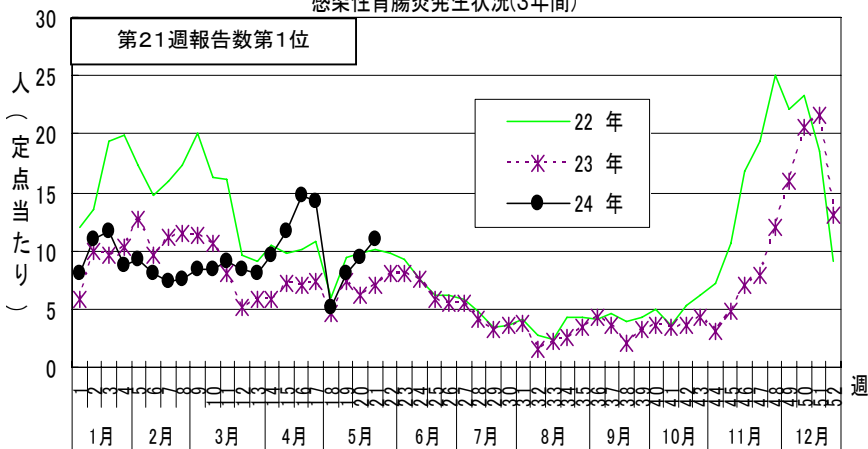
第21週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり10.97人と前週（9.39）より患者報告数は更に増加し、平成11年のデータ収集開始以来、同時期において最も多い報告数となっています。

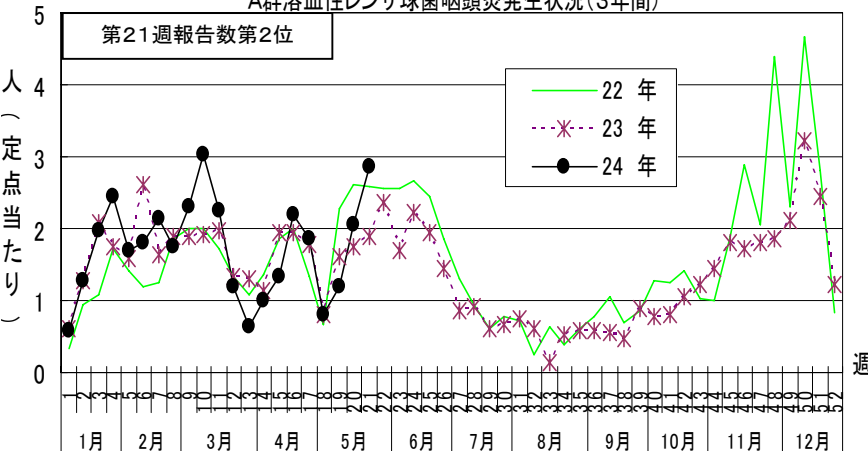
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.85人と前週（2.06）より患者報告数は増加していますが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

水痘は定点当たり1.30人と前週（1.36）より患者報告数は減少しており、例年と比較して低いレベルでの推移となっています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



～関西地方で風しん患者が急増しています！！～

風しんの患者報告数が、兵庫県や大阪府、京都府などの関西地方において非常に多くなっています(グラフ上)。風しんの流行は、例年春先から初夏にかけて多くみられるため、今後注意が必要です。なお、川崎市内においては2件(今年)となっています(グラフ下)。

風しんとは…?

風しんは患者の唾液のしぶきなどに含まれる風しんウイルスによって感染する感染症です。

潜伏期間：約2～3週間

主な症状：発疹、発熱、リンパ節の腫れ

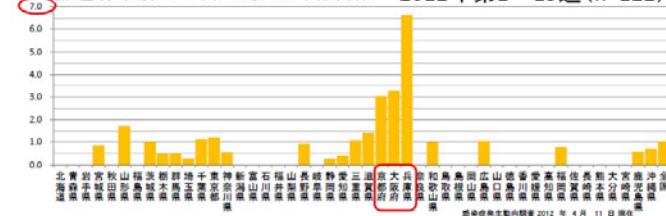
また、妊婦の方は風しんに十分注意する必要があります。



先天性風しん症候群とは…

妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。これらの障害を先天性風しん症候群といいます。先天性風しん症候群を防ぐには、妊娠する前にあらかじめ予防接種を受けることが最も効果的です(妊娠中は風しんの予防接種を受けることはできません)。

都道府県別人口百万対風しん報告数 2012年第1～15週(n=122)



川崎市における風しん報告数

